

平成23年度 第2回 明舞まちづくり委員会 報告

日時 平成24年3月15日(木)17時~19時(於:明舞松が丘ビル3階大会議室)
事務局 兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課

明舞団地の再生について情報交換や意見交換を行う「明舞まちづくり委員会」(今年度第2回目)を開催しました。(参加者53名)

明舞センター地区再生事業の進捗状況について

「商業・住民交流ゾーン」に係る第1期再生事業提案施設(明石側西広場の新施設)の計画・工程概要について、事業者予定者から説明がありました。新施設は、今年5月に着工予定で、来年3月頃のオープンを目指しています。また、既存テナントの代表から新施設に係る調整の経緯や課題などについて報告や意見がありました。

県営住宅への学生居住について

県営住宅への学生居住について、受け入れ側の県営明舞南自治会と県営明舞北神陵台1丁目西自治会の両会長からお話を伺いました。どちらの自治会でも入居した学生が、自治会活動などに積極的に関わられ、高齢化している団地が活気づき喜んでいること、また、既存の入居者にも良い刺激となって自治会活動への参加が増えたことなどが報告され、受け入れて本当に良かったという嬉しい感想を聴くことが出来ました。

空き店舗を活用した新店舗「めいまいガーデン」の取組について

県の取り組む若者活動拠点支援事業により、明舞第1センター1階に昨年12月にオープンした、めいまいガーデンのスタッフリーダーから、活動内容や運営状況の報告がありました。徐々に認知度も上がり、レンタルボックス会員数も増加しています。「自分が創ったものが売れるのはやはり嬉しい」「こういうお話が出来るスペースが出来るのはよい」といった、利用者の感想も紹介され、今後も、団地の皆さんの生きがいや交流の機会の創出のために、頑張っていきたいとの抱負も語られました。

明舞団地内住民による野菜産直市の取組について

県営松が丘自治会の会長から、団地内住民による野菜産直市について、昨年12月に松が丘ショップの空き店舗で開かれた産直市開催までの経緯や、当日の状況や評価が報告されました。当日は、大盛況の中、出品された野菜は約1時間半で完売し、出品した住民、利用者の双方から良い評価が得られたとのこと。こうした取組を1回きりで終わらせないために、住民による運営組織を立ち上げていきたいとの抱負も語られました。

その他

兵庫県から来年度施策として、県営住宅の空き住戸を活用した学生シェアハウスの取組や若者活動拠点支援事業、福祉のまちづくり点検事業を今年度に引き続き実施すること、新たに団地内の空地を活用した菜園の取組や在宅福祉サービスの拡充を図るための「安心地区」整備推進事業を実施予定である旨報告がありました。また、再生事業コンペでの提案に基づいて、大学と地域の連携を核とした「明舞再生塾」が立ち上げられたことなどが発表されました。意見交換では、様々な課題について、情報や意見の交換がなされ、より地域に浸透する情報発信についての意見もいただきました。

今回の委員会でも、多様な主体がそれぞれの立場で団地再生に取り組み、その情報を共有すること、また意見交換することで、まちづくりへの関心や意識を高めることができました。

次回開催は8月頃の予定です